

教育

みんなで親しまう「論語」

◆4月から教育委員会は市庁舎4階に集結しました

多久市教育委員会は、4月から市庁舎4階で「教育振興課」と「学校教育課」の2課体制となりました。「学校教育課」は学校教育全般を、「教育振興課」は社会教育・生涯学習を対象に多久市教育の充実に努めます。

5月から学校教育と社会教育が協働（コラボレーション）し、多久市の論語教育を市民総参加の取り組みにしたいと考えています。

市民総参加の論語教育！

5月から防災無線の帰宅放送を新しく（リニョア）して、放送の終わりに「今月の論語」を流します。多久の子どもは、論語力ルタ100枚を暗唱していただきます。5月の帰宅放送で流れる「今月の論語」を家庭のとおりです。

今月の論語

徳は孤ならず
必ず隣有り

徳ある人は、決して孤立しない。必ず理解者や仲間が現れるものである。

問い合わせ 教育委員会 学校教育課 ☎75-2227

教育長コラム

ちよっといい話



「また、「ご飯食べる？」

相当やんちゃな生徒“M”も、担任の私に頼み込んでまで参加したがった修学旅行。学生服を短くし、坊主頭のこめかみと眉を自分で剃り込んだMを引率したバス車内で「あと〇分で〇に到着、昼食よ」と言うと、「先生、またご飯食べると？さっき食べたよ」とM。「さっきのは朝食、これからは昼食よ」「えー」朝食の習慣がなく、給食時間に登校し、夜間は徘徊。食事の形跡がない家庭で育ったMの、その外見とあまりにもギャップのあるあどけない質問が忘れられない。

教育長 田原 優子

市民文芸

◆四世代共に暮せる賑いを
思いて朝の小ねぎ切りおり

◆如月の朝を出づれば 西空に
沈まんとする 真円の月

◆生きて書く 死んで読まれて 完成だ
今は生きてる 今も生きてる

◆つながれて 主の帰り 一日待つ
犬が春風の庭に眠れる

◆久々に開きし亡父の素描帖
かくもやさしき線とは知らで

◆愛犬の眠りし庭の桜咲く
振り上げし 鍬につきたる 春の土

◆春寒や野鳩は羽根を膨らませ
春雷の足音近し 北を見る

◆野焼き終へまだ燐りの其処此処に
新しい生命が動く 母子手帳

◆新人がステップ踏んで 初出勤
巢立つ子にピン札入りの のし袋

◆美しい花のあなたにあつたトゲ
病床の身を浮かれさせ 春がくる

◆川柳 《多久市川柳会 互選》

◆俳句 《大石ひろ女 選》

◆短歌 《麦の芽短歌会 互選》

◆川柳 《多久市川柳会 互選》

◆俳句 《大石ひろ女 選》

◆短歌 《麦の芽短歌会 互選》

◆川柳 《多久市川柳会 互選》

◆俳句 《大石ひろ女 選》

◆短歌 《麦の芽短歌会 互選》